

## 地域の普通科系高校魅力向上支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県（県立高校）				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす（人材力） ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題] 全県 1 学区制に移行後（H16）は、地域から福井市内の県立高校や私立高校に多くの生徒が通学し、地域の高校では欠員が出ている。						[問題・課題を表す客観的データ] 坂井地区に在住する中学生のうち、43%が福井市内の高校（私立含む）を志望している 奥越地区に在住する中学生のうち、24%が福井市内の高校（私立含む）を志望している 丹南地区に在住する中学生のうち、32%が福井市内の高校（私立含む）を志望している						
[事業目的] 令和 4 年度からの新学科等の設置により、生徒主体の教育活動など学校改革に取り組む県立学校を重点的に支援し、生徒から選ばれる学校づくりを推進する。												
[事業内容] (1) 対象校：地域の普通科系高校 5 校  (2) 内容 ・新学科または新コースを設置し、特色ある教育の実施（足羽、丸岡、勝山、武生東）  ・地域みらい留学による県外生徒の募集（丸岡、若狭）												
[受益者] 全日県立高校（普通科）生徒						[想定される受益者数] 8,016人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		□ 無 ■ 有 事業名 地域との協働による高等学校教育改革推進事業（役割分担）  新たな学科やコースを設置し、特色ある教育活動を実施する地域の高校を今回の事業で支援する。					
市町との連携状況	地域みらい留学による県外生徒受入れのため、高校と地域の橋渡しを行うコーディネータの配置				他県の状況							

## 地域の普通科系高校魅力向上支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成			
事業主体	県（県立高校）				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営													
補助率	—													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	21,854	2,842			19,012		地方創生交付金、理科教育設備整備費等補助金							
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					8,202	21,854	地域みらい留学の実施に伴うPR活動および教育の魅力化（丸岡高校、若狭高校）							
2月現計予算額の推移					17,726									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	普通科系高校を志望する中学生のうち、地域の12校を志望する者の割合	(目標)			40.1%	41.1%	44.0%	45.7%	地域の普通科系高校12校を志望する中学生の割合を、私学無償化拡大の前の状況（45.7%）に戻す					
		実績	45.7%	44.8%	40.1%	40.2%								
活動指標	実施校	(目標)			(3)	(4)			地域の高校生が自主的に学習している状況を中学生にPR					
		実績			3	4								
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価						
定員割れの地域の普通科系高校等の魅力強化を強化することにより令和3年度の志望者が前年より増えた。  足羽高校：11人増    羽水高校：29人増 丸岡高校：15人増    勝山高校：8人増				教育の特色を強く打ち出すため、新学科、普通科新コースを設置し、必要な活動経費（地域みらい留学の実施に伴うPR活動および教育の魅力化）を予算措置				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額			
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	-			
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他				

## 地域の高校の自習室夜間開放事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県（県立高校）				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	[ 1 学びを伸ばす（人材力） ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画 ]				
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<p>全県 1 学区制に移行後（H16）は、地域から福井市内の県立高校や私立高校に多くの生徒が通学し、地域の高校では欠員が出ている。</p>						<p>坂井地区に在住する中学生のうち、43%が福井市内の高校（私立含む）を志望している                      奥越地区に在住する中学生のうち、24%が福井市内の高校（私立含む）を志望している                      丹南地区に在住する中学生のうち、32%が福井市内の高校（私立含む）を志望している</p>						
[事業目的]												
<p>高校生が主体的に勉強できる環境を地域の高校に整備して地域の高校の魅力向上を図るとともに、自主学習時間の増を促進することによる進学強化を図る。</p>												
[事業内容]												
<p>1 自習室の開放</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校校舎の開放 : 警備員の配置延長</li> <li>・ 学校校舎以外の施設の活用 : 非常勤講師等を配置</li> </ul> <p>2 延長時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 18 時頃から 20 時半頃まで延長</li> </ul>												
[受益者] 全日県立高校（普通科）生徒						[想定される受益者数] 8,016人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	大野市：結とぴあの会議室を無償提供 勝山市：教育会館の会議室を無償提供、大学生配置					他県の状況						

## 地域の高校の自習室夜間開放事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県（県立高校）				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		事業終了予定年度（見直し年度）	
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金			R3 年度 経過年数
補助率	—								□ その他			1 年
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	2,822					2,822						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					2,861	2,822	委託料（警備員配置にかかる単価）の減					
2月現計予算額の推移					2,499							
決算額の推移												
前年度までの主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	普通科系高校を志望する中学生のうち、地域の12校を志望する者の割合 (目標) 実績	45.7%	44.8%	40.1%	40.1%	40.2%	44.0%	45.7%	地域の普通科系高校12校を志望する中学生の割合を、私学無償化拡大の前の状況（45.7%）に戻す			
活動指標	自習室の利用率 (目標) 実績								地域の高校生が自主的に学習している状況を中学生にPR 1日あたりの利用者数／対象校の全校生徒数			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
定員割れの地域の普通科系高校等の魅力強化を強化することにより令和3年度の志望者が前年より増えた。  足羽高校：11人増　羽水高校：29人増 丸岡高校：15人増　勝山高校：8人増								<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	39	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 「福井県きぼう応援海外留学奨学金」給付事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成			
事業主体	県内高校生				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助													
補助率	定額													
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす(人材力) ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画 ]							
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]								
福井県教育振興基本計画 方針4 国際的な視野に立ち、自ら考えを発信する力の育成をめざす。 外国の高校で学習してきた県立・私立高校生徒 H28:9人(4人) H29:9人(3人) H30:11人(4人) R1:12人(4人) R2:1人(1人) ※( )内の数は当奨学金利用者数を示す。														
世界を舞台に活躍できる人材を育成するため、海外の高校へ長期留学する高校生を支援する。														
[事業内容]														
<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者：当該年度4月現在、福井県の高校に在籍する日本国籍を有する生徒</li> <li>・留学期間：1年間または2年間</li> <li>・条件：教育上有益であると認められる留学計画であることに加え、留学の普及啓発活動に協力すること</li> <li>・給付額：1年間留学の場合 120万円/年 2年間留学の場合 (アジア) 250万円/年、(その他) 300万円/年</li> </ul>														
[受益者]						[想定される受益者数]								
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井県きぼう応援奨学金 (役割分担)  低所得世帯の高校生への支援							
市町との連携状況						他県の状況								

## 「福井県きぼう応援海外留学奨学金」給付事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県内高校生				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	補助											
補助率	定額											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	18,000			繰入 18,000	0	福井県奨学育英基金繰入金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		6,400	7,900	18,000	18,000	18,000						
2月現計予算額の推移		5,900	7,900	5,500	9,000							
決算額の推移		5,900	7,900	5,500								
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度から、基金会計への繰出しをふるさと県民局で計上</li> <li>・令和元年度、本事業の支援者である、ふるさと納税者から保護者の経済的負担を減らして留学を志す高校生を積極的に後押ししたいとの強い要望を受け、1年留学者への奨学金の上限を30万円から60万円に増額し募集人数を3人から4人に拡大</li> <li>・令和2年度は、さらに1年留学者への奨学金の上限を60万円から120万円に増額し募集人数を4人から5人に拡大、2年留学者の募集人数を2人から4人に拡大</li> </ul>											
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	給付件数 (目標)	(5)	(6)	(9)	(9)	(9)			1年留学 5名、2年留学 4名			
	実績	4	6	1	5							
活動指標	奨学金制度の案内を行った学校数 (目標)	(31)	(31)	(32)	(29)	(29)						
	実績	31	31	32	29							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
・1年留学5名（アメリカ4名、オランダ1名）				留学意欲を喚起するため、留学経験者による中高生・保護者に向けた講演会や動画によるPRを実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	-	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 「夢や希望を育て未来を築く教室」開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす (人材力) ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題] 福井県教育振興基本計画 重点施策3…地域に貢献しようとする心を育む「ふるさと計画」の推進						[問題・課題を表す客観的データ] 将来に向けて具体的な目標をもつ生徒が減少している。						
[事業目的] 高校生が、将来に向けて具体的な目標を持ち、それぞれの目標に向かって学習意欲を高めていけるように、福井県ゆかりの第一線で活躍する企業経営者等を講師とした授業、および各学校から要望が挙がった職業に就いている社会人によるセミナーを実施し、キャリア教育の充実を図る。												
[事業内容] ・ 福井県ゆかりの講師（ふるさと先生）による授業 講師数 20名程度（伊藤忠商事名誉理事 小林栄三氏、コマツ特別顧問 野路國夫氏、JTB取締役相談役 田川博己氏 等） 実施校数 高校20校  ・ 各分野（職業）で活躍している社会人による「キャリア教育セミナー」 講師数 5名（県内外の第一線で活躍する社会人） 実施校数 高校5校  ・ 地域の企業や社会人による「キャリア教室」 講師数 70名程度 実施校数 高校 定時制7校（各校10名）												
[受益者] 県内高校生						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 高校生県内企業訪問・職業理解推進事業 (役割分担)  高校生が企業訪問等をする際の事前学習として活用				
市町との連携状況	令和3年度より「ふるさと先生」を市町の中学校で活用 中学校 6校で実施計画					他県の状況		石川県 世界規模で活躍する企業経営者の講演会を実施 富山県 職業観、勤労観を育てるための企業経営者等による講演を実施				

## 「夢や希望を育て未来を築く教室」開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H26 年度 経過年数 9 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	2,223				2,223							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		3,084	3,084	3,566	3,514	2,223	近年の実績に合わせて減額					
2月現計予算額の推移		2,829	2,049	1,460	2,084							
決算額の推移		2,458	1,720	920								
前年度までの 主な増減理由	令和2年度より「キャリア教育セミナー」、「キャリア教室」を新たに開始したため増額 令和3年度は一部オンライン開催としたため、食糧費を減額											
[成果指標等の推移]												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	授業を受講して夢や希望を持つことができた生徒の割合 (アンケート結果(%))	(90)	(90)	(90)	(90)	(90)	(90)	(90)	ふるさと先生およびキャリア教育講師の授業を通して、生徒がキャリア意識を高め、自らの進路に夢や希望を持つことができたかを成果指標とする。			
	実績	82	82									
活動指標	ふるさと先生による授業、 キャリア教育セミナー実施 校数	(26)	(26)	(26)	(26)	(25)	(25)	(25)	県立高校の全ての生徒が3年間を通して必ず1回は、ふるさと先生およびキャリア教育講師の授業を受け、キャリア発達の機会が持てることを活動指標とする。			
	実績	24	15									
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
「ふるさと先生 授業」 10名が11校で授業を実施 「キャリア教育セミナー」 5名が5校で授業を実施 「キャリア教室」 153名が延べ20校で授業を実施 (コロナ渦による影響で1学期・3学期の事業は中止)				実績を踏まえ、実施回数を縮減				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	1,291	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		



## 個性を引き出す俳句創作活動支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす (人材力) ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
・超一流の指導者による研修機会を設け、教員の創作・鑑賞力を向上させ、文芸作品の創作に関心の高い児童生徒への指導に生かす体制づくりが必要												
[事業目的]												
年齢を問わず楽しめる俳句の創作・鑑賞を通して、児童生徒の豊かな感性や創造性を育み、個性を伸長するため、教員の創作・鑑賞力や指導力の向上を図る。												
[事業内容]												
(1) 夏井いつき先生による「小・中・高の教員対象の俳句創作研修・句会ライブ」 ・夏井いつき氏を講師に招き、俳句の指導や鑑賞方法の研修および創作の機会を設け、授業等における創作指導に生かす。 【日 時】 令和4年5月14日(土) 14時～16時(予定) 【場 所】 AOSSA県民ホール 【対 象】 県内の小・中・高校の教員 350名(予定)												
(2) 夏井いつき先生の審査による「中・高校生対象福井県俳句創作コンクール」 ・(1)の事業実施と同時に周知し、授業等で創作した俳句のコンクールを開催。 ※作句の具体的な応募方法は、YouTube「夏井いつき俳句チャンネル」等も活用 ・夏井いつき氏による審査と優秀作品の表彰を行うことで、創作活動に対する意欲を喚起 【募 集】 令和4年10月上旬 締切 一人二句まで 【対 象】 県内の中・高校生 【表彰式】 令和4年12月4日(日)または12月18日(日)(予定) ※表彰式は夏井いつき氏出席、入選句解説のオンライン配信などを予定												
[受益者] 県内の小・中・高生						[想定される受益者数] 74,245人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	無					他県の状況		全国高校生俳句甲子園				

## 個性を引き出す俳句創作活動支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成				
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R4 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度	
事業実施方法	直営											経過年数			1 年
補助率	—											1 年			1 年
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	1,492				1,492										
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>															
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移						1,492									
2月現計予算額の推移															
決算額の推移															
前年度までの 主な増減理由															
[成果指標等の推移]															
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	中・高校生対象福井県俳句 創作コンクール出品数	(目標)				(1,000)	(1,000)	(1,000)							
		実績													
活動指標	小・中・高の教員対象の俳 句創作研修・句会ライブ参 加者数	(目標)				(350)	(350)	(350)							
		実績													
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価							
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	-				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

## 県立学校タブレット活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす (人材力) ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題] 令和2年度に全県立学校に1人1台タブレット端末を整備。これを効果的に活用するためには、協働学習に取り組むためのアプリの導入や様々な場面でインターネットに繋がる環境を整備するほか、現場で円滑に活用されるよう教員への支援が必要。						[問題・課題を表す客観的データ] 「普段の授業の中で板書をノートに書くだけでなく内容について考える時間が十分あると思いますか」、「生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思いますか」、「自分の考えを他の人に説明したり、文章にかいたりして表現することをよく行っていると思いますか」という質問に対して「そう思う」の回答が、それぞれ43.3%、34.3%、28.7% (R2学習状況調査)						
[事業目的] 令和2年度末に全県立学校に整備した1人1台タブレット端末の整備が完了した。それを効果的に活用するために、授業支援アプリの導入や様々な場面でインターネットに繋がる環境を整備するほか、現場で円滑に活用されるよう教員への支援が必要であり、県内全体の活用度を上げることが重要である。												
[事業内容] (1) 県立学校に授業支援アプリを導入 <input type="checkbox"/> (2) 県立中学校・県立特別支援学校に教師用・学習者用デジタル教科書等を導入し活用方法を研究 (3) 授業目的公衆送信補償金制度への加入 <input type="checkbox"/> (4) ICT支援員を配置 (1名) <input type="checkbox"/> (5) 家庭に無線LAN環境が無い低所得世帯の生徒に通信費用を支援												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	令和3年度までに県立学校に1人1台タブレット端末を整備する都道府県 (H26) 佐賀県 (R2) 秋田県、群馬県、福井県、岐阜県、和歌山県、山口県、徳島県、大分県 (R3) 大阪府、熊本県					

## 県立学校タブレット活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	34,815	34,815				公立学校情報機器整備費補助金 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				29,633	34,815	県立中学校教師用、学習者用デジタル教科書等の導入教科数を10(R3)→2(R4)に精選 ICT支援員を2名(R3)→1名(R4)に縮小 学習支援アプリ無料(R3)→有料(1人1,000円+(税))(R4)						
2月現計予算額の推移				29,633								
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和2年度当初予算で、1年生の3クラスに1クラス分のタブレット端末を整備（令和2～4年度の3年間で全学年の3クラスに1クラス分を整備する計画）</li> <li>・ 令和2年度6月補正予算で、全学年に1人1台タブレット端末を整備する計画に変更（期間短縮（3年→1年）、台数増加（1/3→1/1））</li> <li>・ 令和3年度当初予算で、令和2年度に整備された1人1台タブレット端末について、現場での活用が進むために必要な環境（県立中学校にデジタル教科書を導入、授業目的公衆送信保証金制度への加入、校外活動時にインターネットを利用するためのモバイルルーター、ICT支援員を派遣）を整備</li> </ul>											
[成果指標等の推移]												
区分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	授業の内容がよくわかると 答えた生徒の割合 (%)	(目標) 実績	(37) 28.7	(37)	(37)	(37)	(37)	令和元年度26.9%から10%増				
活動指標	ICT支援員訪問校数	(目標) 実績	(39)	(36)	(36)	(36)	(36)					
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価			実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価					
・ロイロノート全県立高等学校、県立中学校で試験導入 ・高志中学校 全学年全教科でデジタル教科書の導入 ・授業目的公衆送信保証金制度 へ加入、コロナによる休校等で配信授業 ・実施・ICT支援員2名配置、 442回/11ヵ月で巡回計画、5ヵ月間で質問は756件 ・全最新のQ&Aをweb 上に県立学校教員に限定公開			・ロイロノート全県立高等学校、県立中学校で導入 ・高志 中学校全学年で2教科でデジタル教科書の導入 ・質問をま とめたFAQを最大に利用促進し、問合せ回数減を見み、ICT支 援員を2名から1名に変更 ・無線Wi-fi環境の無い低所得世 帯の生徒への実績が現時点で無し、次年度枠として1,000千 円の要求				<input type="checkbox"/> 拡充  <input checked="" type="checkbox"/> 継続  <input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 縮減  <input type="checkbox"/> 休止  <input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の見直し  <input type="checkbox"/> 完了  <input type="checkbox"/> その他	見直し額		-

## 学校に行けない高校生等の自立支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす (人材力) ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題] 不登校や中退等により引きこもりとなっている子どもの社会的自立を支援するためのきっかけづくりを行う支援体制がない						[問題・課題を表す客観的データ] 高等学校の不登校および中退の数 (H30: 507人、H31:573人、R2:506人)						
[事業目的] 高校等において不登校などにより家庭に引きこもりにならないまたはその状況を改善するきっかけづくりを行うことで、それらの子どもたちの社会自立を目指す。												
[事業内容] ○自立支援センター（学習等の実施場所）の設置 ①設置場所 県内3か所（教育総合研究所、嶺南教育事務所、丹南地区（鯖江市勤労青少年ホーム）） ②利用者の掘り起し 3名程度（福井・坂井地区、嶺南地区、丹南・奥越地区 各1名） ③学習等の支援員の充実 教員OB等5名程度  ○利用者の掘り起し パンフレット作成、関係機関への配付  ○支援員の確保 ちらしの作成、配付												
[受益者] 学校に行けない子供たち						[想定される受益者数] 約500人（高校生の不登校、中途退学者数）						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	【高校生向けの適応指導教室】 石川県 7か所 富山県 なし					

## 学校に行けない高校生等の自立支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	1,007				1,007							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				1,341	1,301	1,007	利用者は不登校や引きこもりの状態にあり、1回につき3時間の活動の負担は大きいため、1回あたりの時間を2時間に変更したことによる減額					
2月現計予算額の推移				769	1,009							
決算額の推移				121								
前年度までの主な増減理由		令和2年度の利用実績により、令和3年度の消耗品費を減額										
[成果指標等の推移]												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	自立した子供たち (目標) 実績			(2) 1	(3)	(3)			本事業では一人一人の子どもの状況に合わせて支援を行うものであり、数値による目標設定はなじまない。一人でも多くの子どもの改善、自立につなげる。			
活動指標	利用者数 (目標) 実績			(8) 2	(10)	(12)						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
令和2年度の実績 ・対象者 2名 (1名は学習支援により大学を受験。現在は予備校で学習中。1名は学習支援により美術作品を制作。現在は学習支援により中学校の内容を学習)				利用者が負担なく継続して活動できるよう、活動時間を1回あたり3時間から2時間に変更する。  支援員を確保するため、退職教職員向けに自立支援センターのちらしを送付する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	294	

## 統合型WEB出願システム運用事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎良成	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす (人材力) ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題]  学校における業務改善						[問題・課題を表す客観的データ]  教職員・事務員の入試業務時間 834時間						
[事業目的] 県立学校入試におけるインターネットを利用した統合型WEB出願システムを導入することにより、出願手続きのペーパーレス化および、書類作成、願書受付、名簿作成等の業務負担の軽減を行う。また、出願者名簿を基にしたWEB上の合格発表を行うことで迅速な情報公開を行う。												
[事業内容] 教員の業務効率化を図ることで、生徒と向き合う時間を確保し、教育の質を向上させるため、統合型WEB出願システムを導入する。												
[受益者] 中学校・高校教員、志願者 (保護者)						[想定される受益者数] 毎年約6,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	広島県 公立中高一貫校で導入済み 静岡県 公立中高一貫校で令和5年度入試より導入予定 川口市 公立中高一貫校で導入済み 国立中学校 7校で導入済み 県内私立 福井中学校、敦賀気比中学校で導入済み					

## 統合型WEB出願システム運用事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎良成			
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度
事業実施方法	直営													
補助率	—													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	5,134	5,134				新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金								
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					29,531	5,134	高志中学校入試のオンライン化にかかる費用を増額							
2月現計予算額の推移					29,531									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	(目標) 実績								システムの導入に係る事業であり、定量的な目標値を設置することは困難である。  <b>【目標】</b> 県立中学校入試におけるWEB出願システム導入 令和4年度					
活動指標	(目標) 実績													
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価						
								<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	-			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				



## 地域との協働による高等学校教育改革推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎良成	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす (人材力) ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題] 新学習指導要領を踏まえ、Society5.0を地域から分厚く支える人材育成に向けた教育改革を推進する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 地域を支えるリーダーを育成するとともに、高等学校の機能を強化する必要がある。						
[事業目的] 県立高等学校が自治体、高等教育機関、産業界等と協働して、地域の課題を発見・解決する取組を推進することで、将来地域を支えるリーダーとなる人材を育成するとともに、地域振興の核としての高等学校の機能強化を図る。												
[事業内容] ○地域魅力型： (対象校) 福井県立三国高等学校 (内 容) 多様かつ複雑な地域課題を解決するための街づくりを推進し、地域で生きる人々が生き生きと暮らす活力を創出する人材を育成  ○プロフェッショナル型： (対象校) 福井県科学技術高等学校 (内 容) 地域の関係企業と協働して企画・提案・設計等を行う科技ラボを通して、変化する社会に適応し地域産業を牽引する技術者を育成												
[受益者] 指定校の全校生徒						[想定される受益者数] 三国414人 科学技術447人 (令和3年度)						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 スーパープロフェッショナル・ハイスクール (SPH) 事業 (実績) 県立若狭東高校 H27~29 薬用植物の産地化や植物工場などの高度な施設園芸を取り入れ、生産から調理・加工・販売までを実践する独自プログラムを実施					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

## 地域との協働による高等学校教育改革推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎良成	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R1 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	5,222	5,222				地域との協働による高等学校教育改革推進事業（委託）						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移			7,314	20,274	13,937	5,222	4校中2校の事業期間が令和3年度末に終了したため。					
2月現計予算額の推移			7,314	16,274	10,100							
決算額の推移			6,104	10,395								
前年度までの主な増減理由		採択校数および各校の実施計画に応じて増減（令和元年度2校、令和2～3年度4校）										
[成果指標等の推移]												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	高校生による地域貢献活動数 （目標） 実績		(9) 9	(9) 9	(9)	(9)	(9)	(9)	本事業は、生徒による地域課題の解決を図ることで将来の地域を担うリーダーを育成することを目的としているため、成果指標については生徒が実施した地域貢献活動の回数とする。			
活動指標	各校における地域貢献活動のための協議会開催数 （目標） 実績		(4) 4	(4) 4	(4)	(4)	(4)	(4)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
三国 地域魅力化プロジェクト（1～3年） 地域探究同好会「地究」（ワクワク未来考場） 科学技術 科技ラボ（地域連携、学校連携、企業連携）								<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	8,715	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 高大連携による地域人材育成事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす (人材力) ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題]  地元大学への理解を深め、高校生の地元大学進学を増加させることが課題である。						[問題・課題を表す客観的データ]  県立高校の地元国公立大(福井大・福井県立大)合格者数 H24 福井大学380人、福井県立大147人 計527人 卒業生に対する合格者割合9.4% R2 福井大学248人、福井県立大178人 計426人 卒業生に対する合格者割合8.2%						
[事業目的]  県立高校と地元大学との高大連携の取組みを実践することにより、地元大学に進学し地域で活躍する人材を育成する。												
[事業内容] 拠点校での探究活動支援 地元大学への進学を希望する生徒を対象とした、地元大学教員による探究活動テーマと対象高校で特設し、年間を通した大学教員からの指導を生徒が受けることで推進や総合型選抜入試への材料とする。また、生徒が地元大学を訪問して実験やフィールドワークを行うことで、大学への理解を深め、進学意欲を喚起する。 拠点校 普通科高等学校3校(金津高校、大野高校、敦賀高校) 内 容 探究アドバイザーへの謝金、大学訪問のためのバス使用料、学校間連携コーディネーター配置、課題解決能力を育成するワークショップを実施												
[受益者] 拠点校生徒						[想定される受益者数] 約1,700人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 ふくいプレカレッジ事業 (実績) 大学で受講する大学講座への参加高校生 219名					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	無					他県の状況		無				

## 高大連携による地域人材育成事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	5,910					5,910						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				3,340	3,413	5,910	拠点校数を5校から3校へ減 学校間連携コーディネーターの配置やワークショップの実施を追加					
2月現計予算額の推移				3,340	2,904							
決算額の推移				2,249								
前年度までの 主な増減理由		令和3年度は対象校を5校（拠点校）に絞り、より地元大学とつながりを密にする取り組み（高校生が大学を訪問して実験等を実施）を拡充したため増額。										
[成果指標等の推移]												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	3年後の県内4年制大学への進学者（進路実態調査）		(1,150) 実績 1,183	(1,180) 1,228	(1,230)	(1,230)	(1,230)	(1,240)	R5年度の県内4年制大学への進学者数 卒業予定者数 6,909人全体に占める割合が18%（H30時点16%より2%増）			
活動指標	大学アドバイザーによる高校生への指導・助言回数			(240) 実績 104	(240)	(120)	(120)	(120)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
成果指標は達成しているが、令和2年度は事業対象高校生が在学中なので成果と言い切れない。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、計画していた大学からの学校訪問が困難となったことから活動指標は達成できなかった。				大学アドバイザーによる高校生への指導・助言については、オンラインによる指導・助言のさらなる活用を推進する。				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	-	
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

## 全国高校生プレゼン甲子園開催事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	全校高校生プレゼン甲子園実行委員会				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	負担金											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす(人材力) ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題] 新学習指導要領がR4年度から実施されることを受け、新要領が求める、生徒が自分の考えや思いを適切に表現することができる力を養成していくことに課題がある。						[問題・課題を表す客観的データ] ・普段の授業の中で、話し合う活動をよく行っているか。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合63.9% ・普段の授業の中で、自分の考えを他の人に説明したり、表現する活動を行っているか。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合60.1%						
[事業目的] 全国高校生プレゼン甲子園を開催し、高校生の論理的思考力や表現力、創造力の育成やプレゼンテーションスキルの向上を図る。												
[事業内容] 時期：令和4年4月～8月 対象：全国の高校生（3人1組で応募） ※北信越を対象に重点的に周知 内容：・予選 テーマに沿ったプレゼンテーション動画を作成し、大会HPに提出 ・決勝 予選審査を通過した上位10組による決勝を実施 決勝大会の様子は動画で配信 決勝進出者には福井県の特産品や恐竜博物館年間パスポートを副賞・参加賞として贈呈												
[受益者] 参加生徒						[想定される受益者数] 2,400人(R4)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況	無				他県の状況	無						

# 全国高校生プレゼン甲子園開催事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成						
事業主体		全校高校生プレゼン甲子園実行委員会				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度		
事業実施方法		負担金					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率		—															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等											
予算額	4,791				4,791												
[予算額の推移等]												(単位：千円)					
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由										
当初予算額の推移						4,791											
2月現計予算額の推移																	
決算額の推移																	
前年度までの 主な増減理由																	
[成果指標等の推移]																	
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠								
成果指標	参加チーム数 (目標) 実績				409	(800)	(1,000)	(1,200)									
活動指標	決勝大会参加チーム数 (目標) 実績				10	(10)	(10)	(20)									
[事業の評価]																	
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価									
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額						
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	-						
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	-						

## ふくいサイエンスプロジェクト事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求上限	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす (人材力) ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
[事業目的] 生徒の個性や能力に応じたサイエンス教育を実施し、先端科学技術の発展に寄与できる人材の育成を図る。												
[事業内容] ○先端科学を研究している京都大学との高大連携事業 ・ 京都大学から講師を招聘し講座を開催 ・ 京都大学での講義・実習を開催 ○全国科学オリンピック・科学の甲子園への上位入賞対策 ○ふくい理数グランプリの開催 ・ 高校部門 (数学、物理、化学、生物、地学) を開催 ○ふくいサイエンス顕彰 (南部陽一郎記念ふくいサイエンス賞) ・ 小学生部門 (最優秀賞 1、優秀賞 2、奨励賞 2)、中学生部門 (最優秀賞 1、優秀賞 2、奨励賞 2)、高校生部門 (最優秀賞 1、優秀賞 2、奨励賞 2) ○ふくいサイエンスフェスタの開催 ・ 福井県合同課題研究発表会および講演会の実施												
[受益者] 県内高校生						[想定される受益者数] 1,000人 (令和2年度に本事業の取組に参加した生徒の総数)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	・いしかわ高校科学グランプリ					

## ふくいサイエンスプロジェクト事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H27 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	7,488			(諸) 4,927	2,561	国立研究開発法人 科学技術振興機構委託						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		8,395	8,393	8,869	7,923	7,488	・福井県合同課題研究発表会の会場を高志高校にすることによる減額					
2月現計予算額の推移		8,395	8,393	8,869	7,923							
決算額の推移		7,545	7,574	7,632								
前年度までの 主な増減理由		R元年度～2年度：講師旅費の減額 R3年度：京都大学講師謝金・旅費の減額										
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	科学系の全国大会上位入賞者数 (目標) 実績	(5) 1	(5) 2	(5) 1	(5)	(5)	(5)	(5)	本事業を通じて、科学系の全国大会で上位入賞を果たした生徒・チーム数			
活動指標	ふくいサイエンスフェスタ参加生徒数 (聴講) (目標) 実績	(220) 377	(220) 408	(220) —	(220)	(220)	(220)	(220)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
新型コロナウイルス感染症のためイベントを有観客としなかったため活動目標を達成できなかった。 全国大会の中止が相次いだこと、全国大会参加生徒への対策講座などの支援が不足したことから成果指標は達成できなかった。				活動指標を達成できなかったのは対面型対策講座などの支援ができなかったことから、今年度予算ではオンラインイベントができるよう変更し、活動指標の達成を目指す。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	435	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		



## 教員指導力向上推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求上限	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす (人材力) ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題] 新学習指導要領や大学入学共通テスト等の新制度に対応した力を持つ教員の育成 が必要である。						[問題・課題を表す客観的データ]						
[事業目的] 新学習指導要領や大学入学共通テスト等の新制度に対応するために、教員の資質・能力の向上を図る。												
[事業内容] ○新入試対応指導研修 新入試に対応する問題作成力を高めるための研修会 (情報)  ○授業研究会、授業改善研修会への支援 (大学教授、先進校講師による授業改善のための教員研修) 各学校が管理職および授業力向上リーダーによる授業力向上チームを設置し、個々の学校の課題に応じた独自の授業改善案を検討するほか、 授業改善に必要な外部有識者を招聘した公開授業や授業研究会等の授業改善計画を策定  ○生徒の学習意欲等把握調査 進路意識・キャリア教育に関すること、家庭学習・生活に関すること、授業や学習に関することのほか、生徒の満足度を新項目として追加 調査結果を各学校へフィードバックし、各学校は調査結果を分析・対応策を報告												
[受益者] 県内高校生						[想定される受益者数] 21,856人						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 高校生学力向上推進事業 (実績) ・授業力向上リーダー研修会の実施 ・新入試対応受験指導エキスパート研修を実施 ・授業研究会、授業改善研修会への支援 ・生徒の学習意欲等把握調査を実施					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

## 教員指導力向上推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成					
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務		事業 区 分	■ 実行予算		事業 開 始 年 度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	—															
区分	事業費	国庫	起債	繰入金	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	6,994			5,003		1,991	教員指導力向上基金									
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移				8,469	9,532	6,994	新入試対応研修実施科目を10科目から1科目に変更									
2月現計予算額の推移				6,508	5,130											
決算額の推移				3,992												
前年度までの 主な増減理由	令和3年度は大学入学共通テストの開始に向けて、入試対応指導研修の実施科目数を増やしたため、外部講師謝金・旅費を増額															
[成果指標等の推移]																
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	生徒から見た授業のわかる 度指数 (目標)	(78)	(78)	(78)	(78)	(78)	(78)	(78)	高校生学習状況調査							
	実績	77	79	80												
活動指標	新入試対応研修の参加者数 (目標)		(150)	(150)	(150)	(100)										
	実績		228	-	-											
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価								
成果指標は徐々に向上している 活動指標は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、今年度も中止								<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	2,538					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

## 生徒の進学希望実現支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求上限	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法												
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす (人材力) ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題] 県立普通科系高校では、難関国公立大学、地元国公立大学、私立大学等、多様な進路希望を保障することが求められ、各校の実情に合った取り組みを県教育委員会として支援し、学校と連携して生徒の進学希望実現を図る必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] ・普通科系高校 (16校) 3年生の進路志望→難関国公立大14.4%、地元国公立大31.1%、私立大16.9% ・地域の普通科系高校 (12校) の難関国公立大志望者→59名 ※R3.3月合格者 11名						
[事業目的] 生徒の進学希望実現のため、生徒の学力の向上と進路意識の涵養を図り、各校の進学指導体制を支援・強化する。また、「福井県大学進学サポートセンター」を設置し、地域の普通科系高校に在学する高い志を持った生徒が在籍校に通いながら難関大学を目指すことができる進学支援体制を確保する。												
[事業内容]  (1) 一般選抜入試による大学進学希望者に対する受験対策への支援 各学校が自校の実情に応じて予備校講師を招聘し、各校の生徒の苦手分野に特化した教科別講座や、授業進度に応じた講座を実施  (2) 総合型選抜入試による大学進学希望者に対する受験対策への支援 拡大する総合型選抜入試に対応するため、大学教員等を招聘し、大学での学問に関する講座や課題研究への指導・助言  (3) 「1年生のための大学進学セミナー」の開催 高校1年生に対し、保護者も含めた進学指導を実施し、各校の進学指導を支援  (4) 「福井県大学進学サポートセンター」の設置 地域の県立普通科系高校 (12校) に在学し、難関大学への進学を目指す生徒の学習を支援するため、県教育委員会内に「福井県大学進学サポートセンター」を設置												
[受益者] 県立高校普通科系高校16校の生徒						[想定される受益者数] 約3,000名						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 高校生学力向上推進事業 (実績) ・1年生対象大学進学セミナーの実施 ・大学進学者の多い高校における進学対策への支援 ・大学入試センター福井県プレテストの実施				関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

## 生徒の進学希望実現支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法												
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	5,156					5,156						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				8,731	8,868	5,156	・「大学入学共通テスト福井県プレテスト」の廃止 ・「地域の普通科高校生向け進学支援事業」を統合 ・「総合型選抜入試による大学進学希望者に対する受験対策への支援」を追加					
2月現計予算額の推移				6,214	6,418							
決算額の推移				5,272								
前年度までの 主な増減理由		・令和3年度は大学入学共通テストプレテストの参加者数増加を踏まえ、会場拡大に必要な費用を増額										
[成果指標等の推移]												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	県立高校卒業予定者に対する 国公立大学の合格率	(目標)		(23.0%)	(24.0%)	(24.2%)	(24.5%)	(24.5%)	目標：H31～R3年度の平均(24.2%)以上			
	実績		22.7%	23.7%	26.2%							
活動指標	国公立大学の総合型選抜入試 等の定員に対する、県立高校 からの合格者数の割合	(目標)				(1.35%)	(1.45%)	(1.55%)	目標：H31～R3年度の平均(1.41%)の1割増			
	実績		1.39%	1.52%	1.31%							
活動指標	「福井県大学進学サポートセ ンター」登録者数	(目標)			(100)	(100)	(100)	(100)	約30人×3学年			
実績					178							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
・大学進学希望者に対する受験対策への支援…10校65回 ・「1年生ための大学進学セミナー」参加者数…1181人 ・「福井県大学進学サポートセンター」登録生徒数…178名 ・「福井県大学入学共通テストプレテスト」…コロナ禍で中止				・「福井県大学入学共通テストプレテスト」については、コ ロナ禍のため、2年連続の中止だったことを踏まえ、廃止。				<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	-	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 既卒生の学習支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求上限	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす (人材力) ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題]  自宅での勉学に励む県内既卒生の学習環境を整備する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ]  大学進学を目指す県内出身の既卒生数 (総数) R1 : 239 R2 : 190 R3 : 159 (県内) R1 : 92 R2 : 90 R3 : 80						
[事業目的]  県内既卒生の大学進学希望の実現を支援するため、自学自習できる学習環境を整備する。												
[事業内容] ○福井駅前に大学進学サポートセンターを設置し、自学自習できる学習室において、退職教員が学習を支援する。  ○1日1～2教科の学習会を実施するほか、模擬試験、進学相談などの支援を実施する。												
[受益者] 大学への進学を希望する既卒生						[想定される受益者数] 約80名						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 高校生学力向上推進事業 (実績) H28 : 77名、H29 : 78名、H30 : 80名、H31 : 78名、R2 : 79名、R3 : 64名の既卒生がサポートセンターに登録した。					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## 既卒生の学習支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	12,477				12,477							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			11,815	12,269	12,477	複写機の契約更新に伴い、令和3年6月より料金が上がったため。						
2月現計予算額の推移			11,815	12,269								
決算額の推移			11,752									
前年度までの 主な増減理由	・令和3年度 実績による減額（光熱水費）											
[成果指標等の推移]												
区分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	大学進学サポートセンター 登録者の大学入試合格率	(目標) 実績	53.8% 57.7%	(58.0%) 51.9%	(58.0%)	(58.0%)	(59.0%)	(60.0%)				
活動指標	大学進学サポートセンター 登録者数	(目標) 実績	(55) 80	(55) 78	(55) 79	(55) 64	(55)	(55)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価			実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価					
・R3登録者数 64名 ・R2大学入試合格率 51.9% ・R2学習会実施回数 国語27回、数学53回、英語51回、物理26回、 化学27回 ・R2模擬試験実施回数 年間11回			登録者との面談回数を増やし、希望進路に合わせてきめ細やかな支援を行う。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
							<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	-		
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

## 高度な職業教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす (人材力) ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題] 離職率の低減を目的に体験活動を通して、就労意識の向上を図り、的確な職業選択ができる能力を育成する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 県内高校生における離職率はH28.3月卒業者の34.9%からH29.3月卒業者の33.5%に減っている						
[事業目的] 地元就職する高校生が産業界で活躍できるスキルアップを応援するために、社会から求められるニーズや技術進展に対応した実践的な専門教育の充実を図る。												
[事業内容] 企業の生産現場における実践的な実習等を実施し、地元就職する高校生が産業界で活躍できるよう支援  ○実践的な専門教育 ・デュアルシステムを職業系高校で実施 ○県内企業への就職促進 ・県内企業でのインターンシップを職業学科設置校11校、定時制7校、就職者の多い普通科設置校7校の2年生を中心に実施 ○産業人材コーディネーター ・就職支援のため、求人開発や就職指導を行う産業人材コーディネーターを配置												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## 高度な職業教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H28 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	14,058	3,618			10,440	教育支援体制整備事業費補助金						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		19,610	16,503	16,724	14,262	14,058						
2月現計予算額の推移		14,975	12,808	11,853	10,979							
決算額の推移		13,953	11,177	9,920								
前年度までの 主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ R元～R2年度 生徒数の増減に伴い保険料を増減</li> <li>・ R3年度 実績により産業人材コーディネーター配置日数を減</li> </ul>											
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	高校卒業生の離職率 (目標) 実績	13.4%	13.9%	(15.0)	(15.0)	(15.0)	(15.0)	(15.0)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当該年度卒業生の1年目離職率</li> <li>・ H25～29平均 16.1%を下回るよう設定、H30・R1は超売り手市場</li> </ul>			
活動指標	インターンシップ体験者数 (目標) 実績	(1,900)	(1,900)	(1,900)	(1,900)	(1,900)	(1,300)	(1,300)				
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長期企業実習参加生徒数：43名</li> <li>・ デュアルシステム参加生徒数：3名</li> <li>・ インターンシップ参加生徒数：385人 (コロナ禍による中止の影響)</li> </ul>				生徒の感染症予防対策を徹底しつつ、インターンシップ受入れの再開・拡大を地元企業に依頼				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	204	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		



## 福井フューチャーマイスター事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす (人材力) ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題]  より高度で専門的な知識・技術を生徒に習得・定着させるためには、マイスターや高度技術者等による技術指導が必要である。						[問題・課題を表す客観的データ]  工業科や農業科において、旋盤技術や測量技術について技術者から技術指導を受けている。						
[事業目的]  職業系高校の生徒を対象に、専門知識と技術の習得の証である資格・検定の取得を支援することにより、将来の地域の産業・社会の発展に寄与する科学技術の進展や産業構造の変化等に対応できる職業人の育成を目指す。												
[事業内容]  ○高度技術者による職業人育成 県内企業等から高度技術を有する技術者等の招聘を行い、生徒の専門知識・技術の習得を支援  ○福井フューチャーマイスター事業 資格取得の受験料を補助し、資格の難易度、取得数に応じ、プラチナ、ゴールド、シルバー、ブロンズの4グレードで「福井フューチャーマイスター」を認定												
[受益者] 職業系学科の生徒						[想定される受益者数] 5,748人 (令和3年度)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 高度な職業教育推進事業 (役割分担)  高度な職業教育推進事業では、インターンシップや長期企業実習の実施、産業人材コーディネーターの配置による就業支援を行う。				
市町との連携状況						他県の状況						

## 福井フューチャーマイスター事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H27 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	9,014	234			8,780	教育支援体制整備事業費補助金						
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		11,000	11,438	10,895	9,601	9,014						
2月現計予算額の推移		11,000	11,438	10,895	9,601							
決算額の推移		8,300	9,305	7,367								
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ R元～R2年度 資格試験・検定試験の受検実績に応じて受検料補助額を増減</li> <li>・ R3年度 上記の減額に加え、高度技術者による技術指導実施学科数を減</li> </ul>										
[成果指標等の推移]												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	福井フューチャーマイスター認定率 (目標)	(86.0%)	(86.0%)	(86.0%)	(87.4%)	(87.4%)	(89.4%)	(91.4%)	H30以降は生徒数の減少に伴い、人数ではなく認定率へと目標設定を移行			
	実績	87.0%	87.2%	86.7%								
活動指標	高度技術者による講座回数 (目標)				(80)	(52)	(52)	(60)	R3より指標設定			
	実績	80	80	76	80							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
○福井フューチャーマイスター認定者 プラチナ 42名、ゴールド 763名、シルバー 491名、ブロンズ 381名				成果指標は、コロナの影響により認定率が減少傾向にあり、令和4年度の目標値を令和3年度と同様にした。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
※コロナの影響により、前半の資格試験の中で中止となるものがあつたことや、家庭科において、コンテスト等の評価基準の見直しを行ったことによって認定率が減少した。								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	587	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 協働型産業人材育成プロジェクト事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす (人材力) ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題]  各高校において地域と連携した特色ある活動を実施し、職業学科の魅力を発信していく必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ]  職業系高校への志願者数が減少している						
[事業目的] 科学技術の進展や産業構造の変化等に対応できる、次世代の福井の産業を担う職業人を育成するため、職業系高校において地元産業界等と協働した実践的な学習活動を実施する。												
[事業内容]  ○職業学科の魅力発信プロジェクト ・職業系高校において多様な県内企業と連携した特色あるプロジェクト活動を実施  ○ふくい産業教育フェア ・職業系学科の学習成果や内容を広く県民にPR ・令和5年度開催の全国産業教育フェア福井大会に向け、ふくい産業教育フェアの内容を拡充												
[受益者] 職業系学科生徒						[想定される受益者数] 5,748人 (令和3年度)						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 職業系学科による次代の産業人材育成検討会議 (実績) 職業系高校と企業、大学等による会議 15回開催					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 高度な職業教育推進事業 (役割分担) 高度な職業教育推進事業では、インターンシップの実施、産業人材コーディネーターの配置による就職支援を行う。				
市町との連携状況						他県の状況						

## 協働型産業人材育成プロジェクト事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成					
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		事業開始年度	R1 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	—															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	7,475					7,475										
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移			4,898	4,901	5,495	7,475	全国産業教育フェア青森大会の引継ぎやプレ大会実施のための費用を増額									
2月現計予算額の推移			4,898	4,901	5,495											
決算額の推移			4,344	4,054												
前年度までの 主な増減理由		R2年度 委員旅費の増額 R3年度 ふくい産業教育フェア開催経費の移管による増額														
[成果指標等の推移]																
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	職業系高校生徒の県内就職率	(目標)	(92.0%)	(92.0%)	(92.0%)	(92.0%)	(92.0%)	(92.0%)	本事業を通じて各学校が多くの企業と繋がり、それらの企業に生徒が就職し福井を支える人材となることから、成果指標を県内就職率とする。							
		実績	90.6%	89.4%												
活動指標	職業系学科魅力発信プロジェクト実施数	(目標)	(13)	(13)	(12)	(12)	(12)	(12)								
		実績	13	13	12											
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価								
職業系学科の魅力発信プロジェクト 13回開催				・ふくい産業教育フェア 全国大会を見据え、開催内容を拡充				■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額					
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	-					
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他						

## 先端技術を取り入れた教育力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす (人材力) ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題] Society5.0に向けて技術革新が進む中、職業系高校で教える内容や技術も進展しており、それに対応できるよう教員の資質向上を図る必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 特に新しい教育課程や学習評価に関する研修はほとんどなかった						
[事業目的] 教員が最先端の専門知識や技術を学ぶことができるよう県内外における研修を実施し、教員全体の資質向上と学校の活性化を図るとともに、地元民間企業の技術者等による講義や技術指導を実施し、高度な知識・技術を取り入れた実践的内容の授業を展開する。												
[事業内容] 職業系学科の担当教員を県内・県外の試験研究機関、民間企業等に派遣し研修を実施 ・ 工業、農業、水産、家庭、商業の職業系科目を専門とする教員や実習助手が対象 ・ 県内、県外の試験研究機関、民間企業、研究指定校等で研修し、最新の専門知識や技術を習得 ・ 工業、農業、水産、家庭、商業から選出 ・ 県内研修：夏期休業中等の3日間程度、県外研修：最大3日間程度 ・ 研修成果の教育現場への還元（高教研各部会等での研修報告や部会誌での報告書掲載、研修で学んだことを取り入れた副教材の作成 等） 高度技術を扱う地元民間企業の技術者と教員が連携して教材研究や授業研究を実施 ・ 高度技術を有する人材を招聘し、職業学科における教員および生徒の専門的知識と技術の習得を支援 ・ 週1回2時間の講義および技術指導を年間5回実施												
[受益者] 職業系学科担当教員						[想定される受益者数] 9名						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 職業系学科教員授業力向上事業 (実績) ・平成24～26年度：参加教員実績 のべ200人の教員が参加					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## 先端技術を取り入れた教育力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成					
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		事業開始年度	H24 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	—															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等										
予算額	527			繰入 527	0	教員指導力向上基金										
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移		556	556	1,381	677	527	教員短期派遣研修による研修日数を縮小									
2月現計予算額の推移		330	280	1,054	340											
決算額の推移		274	255	315												
前年度までの 主な増減理由		令和2年度に特別教員による先端授業を新規追加 令和3年度に特別教員による先端授業の回数および実施校数について見直しを実施														
[成果指標等の推移]																
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	(目標) 実績								職業系学科教員の技術・技能の向上を定量的に把握することは困難である							
活動指標	派遣研修参加教員数 (目標) 実績	(8) 9	(8) 8	(9) 9	(9) 9	(9)	(9)	本事業を通じて研修を受けた教員数 60名								
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価								
・令和3年度：9名 農業・工業・商業・水産・家庭・福祉 県内3日 県外5日 4名 5名 ・特別教員による先端授業 技術者による年3回の講義、技術指導				・教員短期派遣研修 県外派遣研修の期間を5日間から3日間に縮減				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	150					
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

## 高校生起業家育成プロジェクト事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす (人材力) ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題] 少子高齢化により労働力人口が減少する中、福井県の経済活性化を図るためには、本県の将来を担い牽引する若い起業家を育成し、新たな視点からビジネスを創出する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 2020年の福井県の開業率 3.1% (42位) (全国合計4.4%)						
[事業目的] 県内高校生を対象に就職、進学以外の進路選択の一つとして「起業」に関する知見に触れる機会を設け、チャレンジ精神や探究心等の「起業家精神」と情報収集・分析力、判断力、コミュニケーション力等の「起業家的資質能力」を育成する。												
[事業内容] ○県独自のビジネスアイデアコンテスト開催 ・コンテスト参加に向けたプラン作成の指導・助言を行う人材を派遣し、作成を支援 ・各参加チームによる15分程度のプレゼンを実施し、審査員による採点・評価を実施 ・最優秀賞については「ふくい産業教育フェア」において表彰し、他の生徒にも起業家育成の取り組みをPR												
[受益者] 全県立高校(全日制)の生徒						[想定される受益者数] 13,713人(令和3年度)						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## 高校生起業家育成プロジェクト事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成											
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度										
事業実施方法	直営																					
補助率	—																					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等															
予算額	684					684																
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>																						
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由															
当初予算額の推移				1,299	695	684	講師旅費の減															
2月現計予算額の推移				1,299	441																	
決算額の推移				1,038																		
前年度までの 主な増減理由		R3年度に、起業家による講演会をふくいの産業デジタル教育推進事業へ移動したため、講演会に係る予算を削減																				
[成果指標等の推移]																						
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠													
成果指標	県独自のビジネスアイデア 本選参加チーム数			(5) 6	(6) 5	(6)	(8)	(10)	コンテスト本選出場チームは応募シートから評価の高いチームであり、本選出場枠を成果指標とする。なお、エントリー数の1%を最終の企業者目標数とする。													
活動指標	ビジネスアイデアコンテスト のエントリー数			(100) 144	(150) 57	(150)	(170)	(200)														
[事業の評価]																						
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価														
令和2年度 応募：144 本選：6 令和3年度 応募：57 本選：5  ※実施時期が早まったことにより、取り組める時間が短くなったことや、エントリーシートの様式を変更したことにより、授業や課題で作成しにくくなったことが、エントリー数の減少の原因				・令和4年度の目標値を令和3年度と同様とし、まずはエントリー数150を目指す。 ・エントリーシートの様式を再検討する。				<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;"><input type="checkbox"/> 拡充</td> <td style="width: 25%;"><input checked="" type="checkbox"/> 縮減</td> <td style="width: 25%;"><input type="checkbox"/> 終期の見直し</td> <td style="width: 25%;">見直し額</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 継続</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input type="checkbox"/> 完了</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">11</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 整理統合</td> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> その他</td> </tr> </table>				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	11	<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額																			
<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	11																			
<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他																				



## 未来の産業教育ブーストアップ事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎良成	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす (人材力) ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題]  産官学が一体となって次世代地域産業人材の育成体制を構築し、将来を見据え最先端を取り入れた新しいカリキュラム開発が急務となっている。						[問題・課題を表す客観的データ]  職業人材育成とカリキュラムの抜本改革を図る必要がある。						
[事業目的] 文部科学省マイスター・ハイスクール事業の採択を受けた県立高校に、民間人教頭などの外部人材を配置することにより、地域産業を牽引する人材の育成を推進する。												
[事業内容]  第4次産業革命・地域の持続的な成長を牽引するための、絶えず革新し続ける最先端の職業人育成システムを構築 ○産業界他関係者一体となったカリキュラム刷新・実践 (コース、学科改編等) ○企業技術者を教員として採用 (マイスターハイスクール版クロスアポイントメント) ○企業等での授業・実習を多数実施、企業等の施設・設備の共同利用 ○専攻科設置や高専化、大学連携等の一貫教育課程導入等の抜本的な改革 など  【福井県立坂井高等学校】 (内容) : 学科横断型DX研究による次世代産業人材育成体制の構築 【福井県立若狭高等学校】 (内容) : 若狭地域のWell-beingを実現するため地域水産業の成長産業化に貢献できる人材育成のための水産海洋教育カリキュラム開発 【福井県立武生商工高等学校】 (内容) : 地域のまちづくり参画による地域に根ざしたマルチアビリティ人材の育成												
[受益者] 指定校の職業系学科全学年生徒						[想定される受益者数] 若狭180人 坂井722人 武生商工733人						
前事業の有無・実績		■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況						他県の状況						

## 未来の産業教育ブーストアップ事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎良成					
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		事業開始年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	—															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	36,123	36,123			0											
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移					15,452	36,123	国委託事業採択に伴うCEO・産業実務家教員の人件費増 新規申請1校分の増額									
2月現計予算額の推移					19,515											
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	商品化・実用化された取組数 (目標) 実績				(0)	(0)	(4)	(14)	企業や大学と連携し開発した製品・システムの中で商品化および実用化された数を指標とする。事業終了後の令和6年の目標を(3)とする。							
活動指標	企業技術者による授業数 (目標) 実績				(50)	(75)							外部人材を活用した授業数を指標とする。			
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価								
								■ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額					
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	-					
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他						

## ふくいの産業とデジタル教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす (人材力) ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題] Society5.0の時代において、産業分野の融合や新産業の創出など社会が大きく変化し行く中で、学校教育においては、依然として農業、工業、商業などの枠組みでカリキュラムが編成されている。経済発展と社会的な課題を解決する新たな価値を生み出し、社会に貢献することができる人材を育成するため、大学科の枠を超えてたカリキュラム編成等が必要						[問題・課題を表す客観的データ]  職業系高校共通の科目や福井県オリジナルの情報講座はこれまでなかった。						
[事業目的] 令和4年度新教育課程実施にむけて、シームレスな産業構造に対応した、福井県独自の職業学科共通科目「ふくいの産業」講座を充実するとともに、プログラミングの指導ができる人材を育成するなど、デジタル教育の充実を図るために、すべての職業系高校において外部講師による授業や研究会を実施する。												
[事業内容] ①職業学科共通で「ふくいの産業」について学ぶために、外部人材による授業を実施 ・ 地域産業の現状や行政および先端企業の取組を学ぶために、行政担当者、経営者・技術者等を講師に招いた授業を実施 ・ 外部講師による授業を、全ての県立高等学校においてオンラインで視聴できるようにライブラリーを構築  ②農業分野での生産管理や介護・医療分野でのAI分析による診断など、産業界が直面する様々な変化に対応する情報教育を行うために、職業学科共通で学ぶ、専門家による授業・実習を実施 ・ AIやIoT、高度なWebデザインについて、大学や企業など外部人材の活用した授業をシリーズで実施 ・ 授業で実践的に活用できるデジタル教材を制作 (アプリケーション開発、動画編集、情報セキュリティ等に関する動画) ・ 最新の情報教育を行うため、情報の専門家をアドバイザーに迎え、各職業学科の情報担当者による研究会を開催												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## ふくいの産業とデジタル教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		事業終了予定年度 (見直し年度)	
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金			R3 年度 経過年数
補助率	—					□ その他			□ その他			2 年
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	782			繰入 61	721		教員指導力向上基金					
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					689	782	デジタル教育推進の中で、教材動画の制作費用を増額					
2月現計予算額の推移					689							
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	職業系高校の県内企業への就職率 (目標) 実績				(91)	(91)	(91)	(91)	職業系高校の県内企業への意識をさらに高め、県内企業への就職率を県平均以上を目標に設定する。			
活動指標	外部講師授業数 (目標) 実績				(40)	(35)	(35)	(35)	オンラインでふくいの産業に関する外部講師授業年間15回、情報に関する外部講師授業を各校2回を活動指標とする。			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
ふくいの産業はオンライン講座の一斉視聴としたため、各高校の行事等を調整し年間15回の実施となった。今後も、ふくいの産業15回、情報に関する外部講師招請授業を20回を活動指標としていくことが適当であるとする。								□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額	
								■ 継続	□ 休止	□ 完了	-	
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他		

## 英語力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部外	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす (人材力) ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
・コミュニケーションを重視した英語力の向上						・「話す力」と「書く力」に課題がある。(文部科学省 英語力調査結果の概要) ・英語の4技能のバランスの取れた育成が求められるが、スピーキングテストおよびライティングテストを実施している学校の割合55.8%である。(全国36.4%)						
[事業目的]												
国際社会で求められる英語力について、生徒が自身の英語力を把握するための一助として外部検定試験やオンライン英会話等を活用し、英語学習に対する意欲向上を図る。												
[事業内容]												
①高校生の外部検定試験費用を補助 ②高校生が外国語でコミュニケーションを図る環境を整備し、共同学習や文化交流を通して、将来グローバル社会で活躍できる人材を育成 ・高校1年生(私立含む)を対象とした「オンライングローバル・キャンプ」を実施 ・高校2年生(私立含む)を対象に県内100名の高校生を英語圏に派遣し、語学研修や現地学生との交流、ホームステイ等の活動を通して英語力向上を推進 ・友好提携都市(ドイツや中国)の学生と交流し、友好交流を促進するとともに、海外の文化や生活習慣について理解を深める。 ③ディベート等を通じて、高校生の論理的思考力のさらなる向上を図る。令和元年度より新たに即興型の福井県ディベート大会を開催 ・高校生を対象に福井県英語ディベート大会を開催し、外国語に対する興味・関心を喚起するとともに、生徒の話す力を育成 ・全国大会に向けての遠征費用や全国大会参加費用および旅費や宿泊費を支援 ④国費高校生留学促進事業より学校の語学研修費用を補助(国庫10/10)および留学フェア開催 ⑤留学生を受け入れるホストファミリーに対して支援 ⑥職業系高校1, 2年生においてフィリピンの大学生とマンツーマンでタブレットを活用したオンライン英会話を年3回実施し、そのうち1/3を補助。身についた英会話力について県独自の検定を用いて評価し、合格者には認定書を発行												
[受益者] 高校生						[想定される受益者数] 11,000人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## 英語力向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部外	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	H23 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度	
事業実施方法	直営、補助												
補助率	10/10												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	58,890	7,201		(諸) 16,881	34,808	国際文化交流促進費（高校生国際交流促進費）補助金 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移			84,328	54,838	58,890	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校生海外語学研修および友好提携都市との交流に係る渡航単価の上昇</li> <li>・ 友好提携都市との交流において、隔年実施であるドイツへの訪問の年度による経費の増加</li> </ul>							
2月現計予算額の推移			31,618	22,034									
決算額の推移			15,416										
前年度までの 主な増減理由	R3年度は新型コロナウイルス感染症拡大状況を踏まえ、海外語学研修の対象人数を100人から50人に減												
[成果指標等の推移]													
区分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	高校卒業時に求められる英語力達成率 (%)	(53) 実績 56	(55) 58	(55) —	(55)	(55)	(55)	(55)	CEFR A2以上 (GTEC690以上、英検準2級以上、全商英検2級以上、工業英検2級以上) の高校生が50%以上【国の目標】 ※全商英検と工業英検は「みなし」としてカウント ※R2は調査なし				
活動指標	中高英語教員対象研修実施回数 (回)	(8) 実績 8	(8) 8	(8) 8	(8)	(8)	(8)	(8)					
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オンライン英会話 4校で1026人実施。ふるさとツーリズム英会話検定4級合格者 7校508人 (R3.7時点)</li> <li>・ 外部検定試験補助事業 英検236人、全商英検907人、GTEC555人に補助 (R3.9時点)</li> <li>・ 高校生の海外との交流事業 (カナダ、ドイツ、中国) 中止</li> <li>・ 外国語ディベート力向上 (10月3日オンラインで実施予定)</li> <li>・ 留学生説明会 7月31日実施</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校生の海外との交流事業の再開</li> <li>・ 外国語ディベート向上 対面実施の再開</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	-		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

## 外国人生徒支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	1/3、10/10											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす (人材力) ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題] 日本語指導が必要な外国人生徒の増加および日本語指導が必要な外国人生徒のみが入学する足羽高校の新学科設置に伴い、これまで以上に学習指導や生活指導にきめ細やかな支援が必要になる。						[問題・課題を表す客観的データ] ・日本語指導が必要な外国人生徒数の増加 H29 : 11名、H30 : 12名、R1 : 12名、R2 : 19名、R3 : 21名 ・足羽高校多文化共生日本語コース 定員20名程度 (未定) ・平成29年度中の日本語指導が必要な高校生等の中途退学率9.6% (全高校生等の中途退学率1.3%)						
[事業目的] 日本語指導が必要な生徒に対する支援体制を強化し、外国人生徒の教育のさらなる充実を図る。												
[事業内容] (1) コミュニケーションサポーターを配置 ・教員、生徒、保護者間の日本語によるコミュニケーションの補助 (2) 日本語能力試験受験料補助 ・外国籍生徒で日本語指導が必要な生徒に対して年1回受験料を補助												
[受益者] 日本語指導が必要な高校生						[想定される受益者数] 60人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況	富山県 日本語支援員 配置なし 石川県 日本語支援員 2名配置					

## 外国人生徒支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成			
事業主体	県				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	R3 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助													
補助率	1/3、10/10													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	6,944	2,275			4,669		教育支援体制整備事業補助金							
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					5,022	6,944	・一人一台タブレット端末を用いて、webの翻訳機能を使用することができるようになったため、双方向翻訳機の購入見送り（229千円→98千円） ・コミュニケーションサポーター配置数の増（4名→6名）（人件費は教職員課計上） （4,793千円→6,846千円）							
2月現計予算額の推移					5,022									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	コミュニケーションサポーターを配置した人数			(2) 2	(4) 4	(6)			外国人生徒等特色選抜実施校に対し、1学年に1名配置。外国人生徒への生徒指導に支障をきたしている定時制高校に1名配置。					
活動指標	コミュニケーションサポーターと連絡協議会の開催回数			(2) 0	(2) 1	(2)								
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価						
・コミュニケーションサポーターを3校に計4名（1日3時間×5日）配置				・オンラインを活用して、コミュニケーションサポーターとの連絡協議を実施する。 ・コミュニケーションサポーター配置数の増（4名→6名）				<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	-			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				



## 特別支援教育に関する支援体制充実事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす (人材力) ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題] ○市町によって現状や課題が様々であり、特に、特別支援教育専任の指導主事のいない市町教育委員会において、所管学校への指導や市町の支援体制が不十分 ○特別な支援を必要とする児童生徒の増加により、特別支援教育の経験が浅い担当者数が急増し、専門性の維持・向上を図る研修等が必要						[問題・課題を表す客観的データ] ・市町教育委員会のうち、特別支援教育専任の指導主事を配置しているのは、17市町中、2市町(福井市・越前市) ・令和3年度の特別支援学級担任のうち約6割、通級指導担当者の約9割が特別支援教育経験年数5年以下。						
[事業目的] ○市町教育委員会を中心とした、地域における支援体制を強化する。 ○小・中・高等学校の教職員の特別支援教育に関する専門性を向上させ、発達障がい等の理解や移行支援の充実を図る。												
[事業内容] (1) 支援体制強化 ア 支援体制専門員の配置…会計年度任用職員として1名(R4)配置 イ 地域における支援体制強化(503千円) (2) 研修体制の充実 ア 通級指導に関する研修会および実践研究(86千円) イ 移行支援に関する研修会(13千円) (3) 保護者支援 ア 保護者理解啓発リーフレット作成(157千円)												
[受益者] 小・中・高等学校に在籍する発達障がい等支援の必要な児童生徒						[想定される受益者数] 小・中・高で計画作成必要者数(特学含む)4,032人(H31.1文科省調査)						
前事業の有無・実績		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 発達障害児移行支援充実事業 通級指導担当者支援事業 ○発達障害児移行支援充実事業 ・教育支援専門員による小・中学校訪問、保護者理解啓発リーフレット作成 ○通級指導担当者支援事業 ・研修会等の開催、通級指導における教材・教具集発行				関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 特別支援教育専門性向上事業 (役割分担) 本事業は市町および小・中・高等学校における支援体制に特化した事業だが、指導・支援にあたっては地域のセンター的機能のある特別支援学校との関わりが必要であり、関連事業と連携強化を図る。				
市町との連携状況		・支援体制専門員が市町の特別支援教育担当者とともに学校訪問をし、校内支援体制について指導・助言 ・特別支援教育担当者連絡協議会において、各地域における課題等について共通理解および協議 ・県主催研修会等への参加依頼 ・市町の要請に応じ、市町主催研修会等へ参加				他県の状況						

## 特別支援教育に関する支援体制充実事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎 良成		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度	
事業実施方法	直営												
補助率	—												
区分	事業費		国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	3,287					3,287							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分			30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	4 年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					3,318	3,293	3,287						
2月現計予算額の推移					3,318	3,293							
決算額の推移					3,058								
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分			30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	4 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	特別支援教育に関する指導・助言可能な市町教委担当者数	(目標) 実績			(2) 3	(2)	(4)		(17)	所管学校における特別支援教育に関する確認事項について理解し、支援体制について指導・助言できる市町教育委員会特別支援教育担当者数の累計			
活動指標	連絡協議会の開催数	(目標) 実績			(3) 3	(3)	(3)		(3)	市町教育委員会指導主事が支援体制に関して協議、共通理解をする連絡協議会の年間開催数			
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町教育委員会の複数の担当者と連携したことにより、成果目標を超えることができた。</li> <li>・連絡協議会では、開催時期や方法を工夫することによって、活動目標を達成することができた。</li> <li>・発達検査等の活用、保護者理解啓発のためのリーフレット作成、配付は計画通り実施できた。</li> <li>・各研修会等は、新型コロナの影響で一部縮小した。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援体制専門員の訪問対象市町を拡大し、特別支援教育に関する指導・助言可能な市町教委担当者を増員。</li> <li>・市町教育委員会を中心とした、地域における支援体制を継続して強化。</li> <li>・各研修会は、実施方法を工夫して実施。</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	5	
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 特別支援教育専門性向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎良成	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす (人材力) ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題] ○経験年数が浅い教員や特別支援学校教諭免許状を保有していない教員が所属している。 ○新学習指導要領では、ICT機器を活用した指導力向上が求められている。 ○特別支援学校教員による専門性の高い指導・支援や、特別支援教育コーディネーターによる教育相談の質の向上が求められている。						[問題・課題を表す客観的データ]  ・小・中学校特別支援学級および特別支援学校の教職員の状況						
[事業目的]  ○多様な障がいに対応するための専門的な知識の習得や、実践的な指導力の向上を目指した研修等をとおして、特別支援学校等の教員の専門性を高める。												
[事業内容] ○特別支援学校教諭免許状保有率の向上 ア 免許法認定講習の実施 (767千円) ○新学習指導要領に対応した授業改善およびICT機器を活用した指導力の向上 ア 授業改善研修およびICT活用推進会議の実施 (273千円)  ○多様な障がいに関する専門的知識および支援や相談スキル等の習得 ア 外部専門家研修の実施 (644千円) イ 教育相談研修の実施 (386千円)												
[受益者] 特別支援学校の幼児児童生徒、教員						[想定される受益者数] 約1,500名						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## 特別支援教育専門性向上事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎良成	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	2,070	214		繰入 658	1,198	国庫：教育支援体制整備事業費補助金（切れ目ない支援体制整備充実事業） 繰入：教員指導力向上基金						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移				2,193	2,056	2,070	研修を行う発達検査の種類変更に伴う増額					
2月現計予算額の推移				1,417	2,056							
決算額の推移				819								
前年度までの 主な増減理由		R3年度はICT活用研修の回数減に伴い減額										
[成果指標等の推移]												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	特別支援学級における特別支援学校教諭免許保有率 (目標)	(55%)	(60%)	(60%)	(65%)	(65%)	(70%)	(85%)	教育振興基本計画では、特別支援学校教諭免許状の保有率を向上させるため、認定講習を継続的に実施することをうたっている。特別支援学級においても85%（特別支援学校の全国平均）を最終目標とする。			
	実績	55.6%	58.2%	55.9%								
活動指標	免許法認定講習受講者数 (目標)				(350)	(268)	(300)	(300)	・令和3年度より指標設定、講座の定員数を目標に設定 ・R2は感染症拡大防止のため中止、R3は前年度を踏まえ、定員を増やして対応			
	実績	250	287	—	361							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校の相談受理数：937回</li> <li>・外部専門家による巡回相談、研修回数：55回</li> <li>・特別支援学校小・中学部へのタブレット端末整備数：303台</li> </ul>								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	-	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 特別支援学校キャリア教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎良成	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務  □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす (人材力) ] 政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 ]				関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画 ]					
[解決すべき問題・課題] ○農業分野の実習や雇用の受入先業が少なく、作業体験活動等を通して、サポーター企業等の開拓および活用をしていく必要あり ○校内の作業学習の内容は製造系が中心であるため、就職先の職種に合ったサービス系の学習を充実させていく必要あり						[問題・課題を表す客観的データ] 過去10年の特別支援学校卒業生 (449名) の進路内訳において 農林漁業作業者：3名 専門的技術的職業従事者：14名 サービス職業従事者：45名						
[事業目的]  ○農業体験など地域との連携・協働により、特別支援学校児童生徒の就労・学習意欲や職業スキルを向上させるなどキャリア発達を促進する。												
[事業内容]  ○農業法人等による技術指導や校外での農業体験実習により、特別支援学校中・高等部生徒の就労意欲および職業スキルを向上 (1,715千円) ○特別支援学校中・高等部における作業学習の見直し、喫茶業協同組合等の協力を得ながら喫茶サービス技能検定の導入を検討 (661千円) ○特別支援学校小・中学部の児童生徒が、地域における社会体験活動など積極的な社会参加をすることにより、ライフキャリアの発達を促進 (357千円)												
[受益者] 県立特別支援学校6校の知的障がいのある中・高等部生徒 (うち農業班)						[想定される受益者数] 対象生徒 150名						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 特別支援学校就労応援事業 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## 特別支援学校キャリア教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎良成		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度	
事業実施方法	直営												
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	10,994			諸収 881	10,113	被保険者負担金							
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>													
区 分			30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	4 年度	令和 4 年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					11,269	11,099	10,994	運営協議会委員数減に伴う減額					
2 月 現 計 予 算 額 の 推 移					8,449	11,099							
決 算 額 の 推 移					8,393								
前年度までの 主な増減理由		R 3 年度は地域社会交流体験実施校数の減に伴い減額											
[成果指標等の推移]													
区 分			30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	4 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	農業体験実習受入企業等数	(目標) 実績			(6) 7	(6)	(9)	(9)	(12)	農業体験実習受入れや技術指導等の協力を得られた企業等数			
活動指標	農業体験活動参加生徒	(目標) 実績			(100) 79	(100)	(120)	(120)	(150)	農業班で学習する生徒のうち、本事業で校外での農業体験活動に参加した生徒数(延べ)			
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和 4 年度の変更点				事業評価				
					・生徒の感染予防対策を徹底した上で、企業・農業法人に生徒の受入回数・人数の増加を依頼				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
									<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	105	
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 特別支援教育DX事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎良成	
事業主体	県				事務 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務  <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [ 1 学びを伸ばす (人材力) ]	政策 [ 1 夢と希望を持ち、ふくいを愛する子どもの育成 ]	関連する県の計画等		[ 福井県教育振興基本計画 ]							
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病气入院中の児童生徒は前籍校を離れることによって不安感、孤独感を感じている。</li> <li>・ 高校通級における就労移行に関する授業改善が求められている。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福井東特別支援学校五領・月見分教室の在籍状況</li> <li>・ 福井県内の高校通級実施状況</li> </ul>						
[事業目的]												
特別な支援が必要な児童生徒の学習意欲やソーシャルスキルの向上を図るため、ICT機器を活用した学習環境の改善を推進する。												
[事業内容]												
(1) 遠隔ロボットの導入 ・ 福井東特別支援学校に前籍校の授業に参加できる遠隔ロボットを整備し、児童生徒の前籍校に貸出す。 ・ 病气療養中の児童生徒が定期的に前籍校の授業に参加することで、心理的な安定を図り、学校からの離脱を未然に防ぐ。 ・ 病院内だけでは味わえない体験を保障し学習意欲につなげる。												
(2) 発達障がい支援VR機器の導入 ・ 学習用VR機器を導入し、通級による指導を受ける高校生に対してソーシャルスキルトレーニングを実施する。 ・ VR機器の活用により、より現実に近いコミュニケーション場面を繰り返し体験することで学習効果の向上を図る。												
[受益者] 病气入院中の児童生徒、高校通級の対象生徒						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

## 特別支援教育DX事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	教育庁	課名	高校教育課	課長名	山崎良成					
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		事業開始年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R6 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率	—															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	1,627					1,627										
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移						1,627										
2月現計予算額の推移																
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	(目標) 実績															
活動指標	病気入院中の児童生徒の遠隔授業実施時数(のべ時数) 実績					(200)										
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価								
								□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額					
								□ 継続	□ 休止	□ 完了	-					
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他						